

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	脳神経病理薄切標本における顕微分光技術
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者：新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断されたタウオパチーの患者さんから 3 名、シヌクレイノパチー3 名、および神経疾患を持たない患者さんから 3 名です。従って、対象となる患者さんのご遺族で、新潟大学脳研究所病理学教室に対して病理解剖、及び研究利用、保存の同意をいただいている方が対象です。</p> <p>対象期間：2001 年 1 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日</p>
③概要	<p>病理解剖時に凍結保存している脳組織の一部を用いて、様々な染色方法を検討し神経疾患を持たない患者さんと比較解析を行います。</p> <p>対象となるご遺族様におかれましては、本研究にぜひともご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、承諾されないという場合は、下記「①お問い合わせ先」までご連絡ください。承諾されないというご判断は尊重され、ご遺族様が不利益を被ることはございません。</p>
④申請番号	C2023-0001
⑤研究の目的・意義	<p>アルツハイマー病 (AD) における Amyloid <math>\beta</math> や Tau、レビー小体型認知症 (DLB) やパーキンソン病 (PD) における <math>\alpha</math> Synuclein など、各疾患において観察される特殊なたんぱく質構造体の構成因子が同定され、病理診断の対象として注目されています。そこで、本研究ではたんぱく質構造体の毒性の有無を識別するための蛍光色素、構造体を構成する要素を可視化する蛍光抗体染色法などを開発し、最大限の情報を抽出できる技術を開発することを目的としています。</p> <p>本研究により、神経変性疾患の病態解明や治療につながる知見が得られる可能性があります。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025/3/31
⑦情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>新潟大学脳研究所病理学分野のスタッフにより、病理解剖にて採取した脳組織、及び付随する患者さんの情報 (年齢、性別、臨床診断名、罹病期間) を利用します。凍結脳組織とそれに付随する情報は、個人が特定できない状態で、理化学研究所に提供され、同研究所において組織染色および光学観察に関する技術の開発と実践を行います。得られた画像情報を共同研究機関に提供する可能性があります。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	病理解剖にて採取され、保存されている凍結組織 (脳)、患者さんの情報 (年齢、性別、臨床診断名、罹病期間)
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学 新潟大学 脳研究所病理学分野</p>

	理化学研究所 脳神経科学研究センター 細胞機能探索技術研究チーム (埼玉県和光市広沢 2 番 1 号)
④試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 新潟大学 脳研究所病理学分野 柿田 明美 理化学研究所 脳神経科学研究センター 細胞機能探索技術研究チーム 宮脇 敦史
④お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学 脳研究所病理学分野 氏名：柿田 明美 Tel：025-227-0633 FAX: 025-227-0817 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp